

おわりのことば

本校では昨年度から文部科学省の委託事業を受託し、キャリア教育をテーマとした教育実践研究に取り組んでいます。

なぜ、今キャリア教育を取り上げたのか。それは、いくつかの機縁が重なったからというのが本当のところです。物事が決まるという時には往々にしてあるものですが、大切なのはその機会を逃さないということでしょう。

過去の5年間にわたる、ICF（国際生活機能分類）の理念や生活機能モデルを参考に取り組んできた実践研究は、①子どもと保護者の希望や願いを重要視し、それらを教育的ニーズに整理すること、②子どものこれまでの体験に基づく生活世界や自分に対する知識、認識を適切に把握し、学習活動を通してそれらをより現実に即して更新できるようにすること、③教師は子どもと学習活動の目標と価値を共有し、プロセスも含めた結果を子どもの行動の変容だけでなく内面の変化にも焦点を当てて評価すること、そしてその評価を子どもと共有することでした。

それらはキャリア教育におけるキャリアやキャリア発達とその支援に通ずるものであり、今キャリア教育の視点で今までの取り組みを問い直すことは、私たちのこれまでの教育実践を検証し、意味付け、さらに深化させることが期待できると考えます。

一方、これまでの私たちの取り組みは、一人一人の子どもたちとの関わりや授業実践という点に重きがおかれ、教育課程をはじめ学校全体のあり方を問う点で課題を感じつつありました。

子どもたちの発達のステージ毎の育てたい力や大切にしたいこと、そして目指す子ども像の共有化、各学部の教育課程とその12年間の系統性や関連性、学習活動を通じた地域連携、保護者との連携など、その課題は多岐にわたります。

それゆえ、学校のあり方に関する課題の解決に向けて取り組んだものの、それらはどれもが緒についたばかりと言わざるを得ません。

本紀要では、地域連携（学校外部の人や資源との連携）を取り入れた学習活動や中学部と高等部合同の作業学習、進路指導の取り組みなどを紹介していますが、全体を通じて、“学校が充実・改善に向けて動き出している”という事を感じ取っていただければ幸いです。

ぜひ、ご高覧いただき私たちの未熟な教育実践に忌憚のないご指導、ご助言をいただきますようお願いしたいと存じます。

学校研究を進めるにあたり、遠方より何度も足を運ばれ、ご助言を下さった京都市教育委員会指導部総合育成支援課専門主事の森脇勤先生をはじめ、北海道立特別支援教育センター所長の木村宣孝先生、金沢大学人間社会研究域学校教育系の諸先生方にも一方ならぬご協力を賜りました。心より感謝申し上げます。

副校長 山本 仁

研究同人

〈研究助言者〉

京都市教育委員会 指導部 総合育成支援課
北海道立特別支援教育センター

専門主事
所 長

森 脇 勤 氏
木 村 宣 孝 氏

〈研究協力者会議委員〉

北陸銀行賢坂辻支店
日機装株式会社
金沢大学生生活協同組合
金沢市福祉局 障害福祉課
金沢公共職業安定所
石川障害者職業センター
金沢障害者就業・生活支援センター
NPO 法人 LIAISON

山 田 太 一 氏
中 田 典 子 氏
北 俊 之 氏
津 田 宏 氏
星 澤 絵利香 氏
大 工 智 彦 氏
中 島 祐 妃 氏
中 山 肇 氏

(順不同)

校 長 綿 引 伴 子 副校長 山 本 仁 主幹教諭 下 野 令 子

小学部 柳 生 美由季
竹 川 久美子
東 ゆかり
永 井 文 人
小山内 悦 子
近 藤 明 子
清 水 由美子
山 崎 透
岡 部 亜希子
椎 間 仁 美 (講)
村 上 寿 子 (講)

高等部 新 保 利 久
森 山 雄 生
中 村 由美子
吉 藤 篤 史
津 田 真 里
鶴 尾 千亜紀
鍛治口 誠
竹 内 里保香
宮 本 果 林 (講)
卯 野 勝 之 (進路指導サポーター)
松 林 靖 子 (作業学習サポーター)
長 木 茂 (作業学習サポーター)

中学部 神 谷 みつ江
中 川 伸 明
北 潟 理 美
三 宅 和 憲 (研究主任)
山 本 奈都美
戸 谷 茂
不 嶋 美 穂
吉 田 華恵美
大 森 美 紀 (講)

旧同人 酒 寄 淳 史
今 井 康 弘
木 下 由 起
伊 藤 久美子
土 田 行 美 (講)
水 上 美 穂 (講)
大 谷 千 尋 (講)
尾 山 登志子 (講)
中 谷 至 子 (講)

養護教諭 藤 川 典 子
栄養教諭 寺 口 真 弓

平成 26 年度研究紀要

キャリア発達支援の視点による、小中高 12 年間を見通した学習活動の充実改善
(一年次)

発行 平成 27 年 2 月 6 日
発行者 金沢大学人間社会学域学校教育学類附属特別支援学校
校長 綿引 伴子
〒920-0933 石川県金沢市東兼六町 2 番 10 号
TEL (076) 263-5551 FAX (076) 264-2275
<http://partner.ed.kanazawa-u.ac.jp/futoku/>

印刷所 ソノダ印刷株式会社

